

ここから広げよう!! 各学部の先生からのオススメ本 READING LIST

人文学部 田島 健太郎 先生



ジェームズ・ボールドウィン 著;
川副智子 訳
『ビール・ストリートの恋人たち』

早川書房, 2019年1月
【所在】 図・開架・図書
【請求記号】 933/B16

Black Lives Matter運動の高まりを伝え聞いたからと言って急に米国の人種問題に興味を持つとも思っても、米国黒人の日々の暮らしの生活感がリアルに想像できないと、彼らの身になって深く考えるのは難しい。ジェームズ・ボールドウィンの『ビール・ストリートの恋人たち』は、派手なところはない小品だが、ある黒人一家の物語を通して米国黒人の生活の手触りをしめしめ味あわせてくれる。翻訳も良い。

教育学部 松本 昭彦 先生



石井公成 著
『東アジア仏教史』
(岩波新書:新赤版 1758)

岩波書店, 2019年2月
【所在】 図・開架・PB
【請求記号】 180.2/175

インドで始まった仏教が、東アジア(中国・朝鮮半島・日本に加え、ベトナムやチベット・モンゴル等中国の周辺も含めて)に、どのように広まり、展開して行ったかを解説。人名・書名などの固有名詞が何千(巻末の索引に採られたものだけで約1000)も出てくるのは少々厳しいが、二千年にわたる仏教史を、一国ではなく東アジア地域という広域で捉える視点は、仏教を宗教としてだけでなく文化の一部として記述することを可能にする。

医学部 今井 奈妙 先生



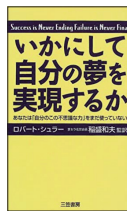
大野正人 著
『失敗図鑑: すごい人ほどダメだった!』

文響社, 2018年5月
【所在】 図・開架・図書
【請求記号】 280.4/O67

「受験に失敗したらどうしよう」、「就職できなかつたらどうしよう」と思った経験があるかもしれません。不安に基づく暗い未来の想定は、その思考の実現に向かう道となります。希望に溢れる未来を設定し、夢に向かって行動を決めていく必要があるのでは?

本書は、児童書ですが、大人も勇気づけられる内容です。偉人達の失敗を知り、人生の窮屈さから解放たれてみてはいかがでしょう?

工学部 前田 太佳夫 先生



ロバート・シュラー 著
『いかにして自分の夢を実現するか
新装版』

三笠書房, [1999年6月]
【所在】 図・開架・図書
【請求記号】 159/Sc8

「前向きに生きていくにはどうすれば良いか」について書かれているが、どちらかというと「失敗したときにどのように立ち直れば良いか」という視点で読んだ方が役に立つ本である。勉強、研究、就活等のことで困難に直面したときに、自分の状況に合ったフレーズを探して、自分の都合の良い解釈でよいので読んでみると、ポジティブになれて気持ちになる。

生物資源学部 瀧上 佑樹 先生



渡辺典博 著
『巨樹・巨木: 日本全国674本』[正]
(ヤマケイ情報箱)

山と溪谷社, 1999年3月
【所在】 図・開架・図書
【請求記号】 652/W46/[1]

大学3年の夏休みに図書館で何となく手にとったのがこの本。タイトル通り全国各地の巨樹・巨木が紹介されている。本に載っている木が近所(京都)にもあったので、暇つぶしにいくつか見て回っているうちに熱が入ってしまい、その夏のうちに本を片手に四国まで巨樹を見に行ってしまった。本をきっかけに何か行動したい人におすすめ。

教養教育院 大熊 富季子 先生



川原繁人 著
『音とことばのふしぎな世界: メイド声から
英語の達人まで』 (岩波科学ライブラリー)

岩波書店, 2015年11月
【所在】 図・開架・図書
【請求記号】 801.1/Ka92

怪獣「ゴジラ」の名前がもし「コシラ」だったらその印象は変わるだろうか? もし「ガンダム」が「カンダム」だったら? 言語学では「音自体には意味はない」と考えるが、果たして本当にそうなのか。本書はそのような疑問に答えつつ私達のことばの音の特徴を分かり易く紹介した音声学の入門書である。日本人が苦手な英語の[r]と[l]の音の違いの解説もあるので英語学習にも役立つ。